

授業科目名: 初等教科教育法(理科)	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数: 2単位	担当教員名: 北村 克久・三宅 一彦 担当形態: オムニバス
実務内容 (実務家教員の場合)	小学校教諭としての勤務経験を持つ教員が、理科における指導計画の作成、学習指導案の作成について指導する。		
科目	教科及び教科の指導法に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。) ・理科		
「学位授与の方針」との関係			
DP2.共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる(専門知) DP4.個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自立的な課題探究能力を身につけて実践することができる(実践力)			
授業のテーマ及び到達目標			
(1) 小学校学習指導要領理科の改訂のねらい、意義と役割、構成内容、内容の取扱い、評価などを理解する。 (2) 各学年の目標と指導内容を理解し、最小限必要な観察、実験などの指導方法を修得する。 (3) 教育課程を基本として、指導案の書き方のルールを踏まえて、理科学習指導案を作成することができる。 (4) 問題解決の過程を重視した理科授業の流れや教育現場での課題について理解する。			
授業の概要			
小学校理科の目標「自然に親しみ、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験などを行うことなどを通して、自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するために必要な資質・能力の育成」の具現化を目指す。			
授業計画			
第1回:理科教育の意義と役割(北村) 第2回:理科教育の目標と各学年の目標(北村) 第3回:内容構成:小学校理科の「A物質・エネルギー」、「B生命・地球」を柱とした内容の構成(北村) 第4回:具体的な内容と指導法(情報機器及び教材の活用、授業映像を含む)(第3学年)A物質・エネルギー(北村) 第5回:具体的な内容と指導法(情報機器及び教材の活用、授業映像を含む)(第3学年)B生命・地球(三宅) 第6回:具体的な内容と指導法(情報機器及び教材の活用、授業映像を含む)(第4学年)A物質・エネルギー(北村) 第7回:具体的な内容と指導法(情報機器及び教材の活用、授業映像を含む)(第4学年)B生命・地球(三宅) 第8回:具体的な内容と指導法(情報機器及び教材の活用、授業映像を含む)(第5学年)A物質・エネルギー(北村) 第9回:具体的な内容と指導法(情報機器及び教材の活用、授業映像を含む)(第5学年)B生命・地球(三宅) 第10回:具体的な内容と指導法(情報機器及び教材の活用、授業映像を含む)(第6学年)A物質・エネルギー(北村) 第11回:具体的な内容と指導法(情報機器及び教材の活用、授業映像を含む)(第6学年)B生命・地球(三宅) 第12回:環境教育及び栽培、飼育(三宅) 第13回:指導計画の作成、事故防止の留意点(北村) 第14回:理科学習指導案の作成と授業づくり(北村) 第15回:学習過程における評価(北村) 科目修得試験			
スクーリングでの学修			
「科学的コミュニケーション」について学び、学習指導要領の構造とキーワードについて理解し、指導案や授業実践とのつながりについて学びます。具体的な指導方法の工夫については、映像等を通して学びます。			
テキスト			
文部科学省『小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 理科編』東洋館出版社 978-4-491-03463-8 文部科学省国立教育政策研究所『平成30年度全国学力・学習状況調査の調査結果を踏まえた理科の学習指導の改善・充実に関する指導事例集【小学校】～主体的・対話的で深い学びの実現に向けて～』 <a href="https://www.nier.go.jp/kaihatsu/shidousiryou/rika/pdf/rika_pri.pdf">https://www.nier.go.jp/kaihatsu/shidousiryou/rika/pdf/rika_pri.pdf</a>			
参考書・参考資料等			
『「指導と評価一体化」談ため談学習評価に関する参考資料・小学校理科』(文部科学省国立教育政策研究所) <a href="https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r020326_pri_rika.pdf">https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r020326_pri_rika.pdf</a> 養老孟司・角屋重樹ほか(2023年)「みらいをひらく小学理科3年」教育出版、9784316204864 養老孟司・角屋重樹ほか(2023年)「みらいをひらく小学理科5年」教育出版、9784316204888			
学生に対する評価			
スクーリング評価(25%)、レポート評価(25%)、科目修得試験(50%)			